



## 「おく歯」で、物をかむ力はどれくらいなの

### なんと、50キログラムにもなる

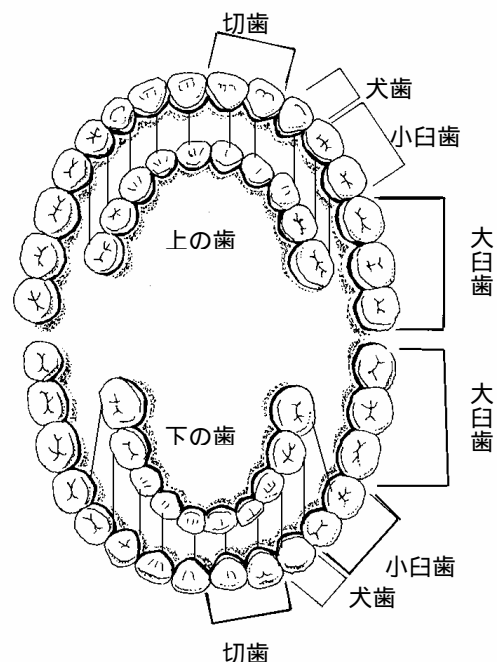
歯の表面は、エナメル質というものでおおわれており、水晶のようなかたさがあり、人間の体の中でいちばんかたく、骨よりもかたいのです。そして、このようにかたい歯は、食べ物をかみくだいたり、やわらかくして、消化を助けます。

その物をかんだときの力は、「おく歯」では、なんと50キログラムにもなるそうです。

### 歯には、それぞれ役目がある

歯は、みんな同じように見えますが、よく見ると形や大きさがちがっており、それぞれ、役目もちがっています。

前歯といっている4本の歯は、切歯といい食べ物をかみ切る役目をしています。そのとなりは犬歯で、食べ物を切りさくはたらきをします。そのおくにあるのが小白歯で、食べ物をかみくだきます。そして、大人の歯に生えかわると、大臼歯という、食べ物をすりつぶす歯が出てきます。（監修・保志 宏）



外側の歯は永久歯（大人の歯）  
内側の歯は乳歯（子どもの歯）

